

4) 大腿骨頸部骨折既往の現状

(1) 大腿骨頸部骨折の疫学 (図表38)

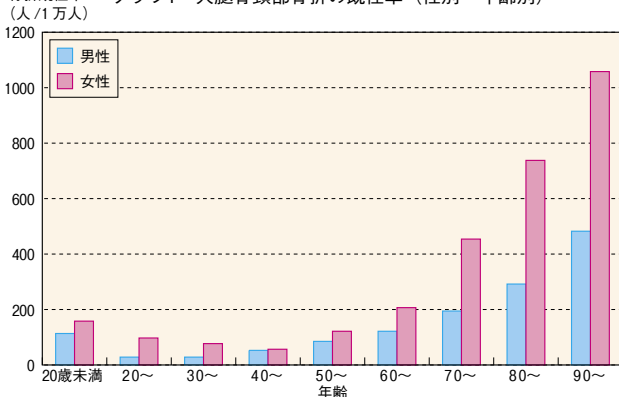
表1 大腿骨頸部骨折の既往 性別

大腿骨頸部骨折の既往	男性	女性	合計	性別記載なし	総計
既往なし	119,536	73,670	193,206	59	193,265
既往あり	1,705	2,502	4,207		4,207
既往率 (1万人あたり)	140.6	328.5	213.1		213.0
合計	121,241	76,172	197,413	59	197,472
不明	1,152	767	1,919		1,919
記載なし	39,116	24,706	63,822	46	63,868
総計	161,509	101,645	263,154	105	263,259

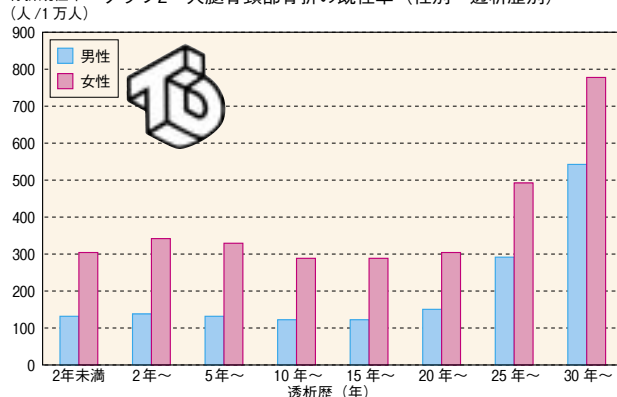
表2 大腿骨頸部骨折の既往 性別、糖尿病有無別

大腿骨頸部骨折の既往	男性		女性		合計	糖尿病有無記載なし (男女)		総計
	糖尿病	非糖尿病	糖尿病	非糖尿病		記載なし (男性)	記載なし (女性)	
既往なし	43,498	75,952	21,119	52,511	193,080	86	40	193,206
既往あり	699	1,005	856	1,641	4,201	1	5	4,207
既往率 (1万人あたり)	158.2	130.6	389.5	303.0	212.9			213.1
合計	44,197	76,957	21,975	54,152	197,281	87	45	197,413
不明	497	655	230	536	1,918		1	1,919
記載なし	14,043	24,919	6,840	17,786	63,588	154	80	63,822
総計	58,737	102,531	29,045	72,474	262,787	241	126	263,154

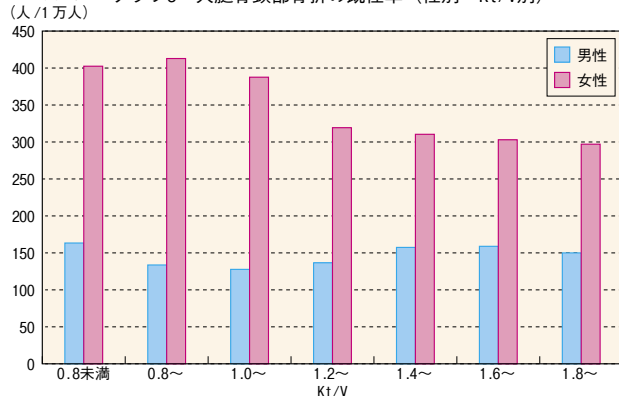
骨折既往率 グラフ1 大腿骨頸部骨折の既往率 (性別・年齢別)



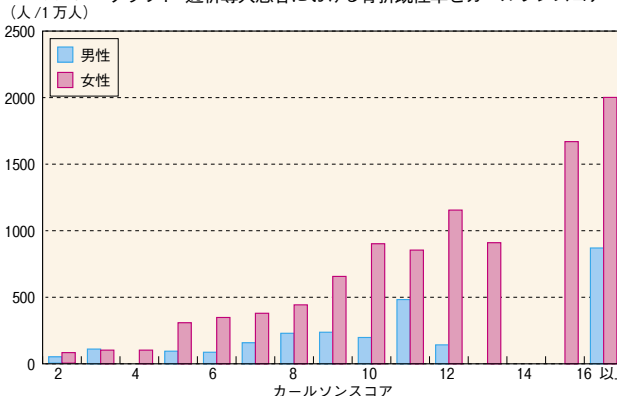
骨折既往率 グラフ2 大腿骨頸部骨折の既往率 (性別・透析歴別)



骨折既往率 グラフ3 大腿骨頸部骨折の既往率 (性別・Kt/V別)



骨折既往率 グラフ4 透析導入患者における骨折既往率とカールソンスコア



患者調査による集計

解説

今年度はじめて大腿骨頸部骨折既往に関して調査をおこなった。巻末に骨折既往に関する多変量ロジスティック解析を施行しているの、参照されたい。女性での骨折既往率は男性のそれの2倍以上であり、どの年齢層においても女性で骨折率が高かった。また糖尿病では非糖尿病に比して骨折率は高く、この傾向は男女とも同様であった (表1、2、グラフ1)。男性においても女性においても透析歴が25年を超えるころから骨折既往率が高くなることは注目に値する。Kt/Vと骨折既往率の単変量の関係では、女性では低いKt/Vと高い骨折既往率とに関連があった。(巻末の多変量解析では男性でむしろこの傾向が顕著であった。) また透析導入患者のみにおける骨折既往も男性に比べて女性で多く、また高いカールソンスコアと骨折既往率は関連した。